

## 福岡県、国立感染症研究所とマダニ感染症を共同研究!!

福岡県は、人と動物の共通感染症対策の一環として、福岡県保健環境研究所と国立感染症研究所が、マダニを媒介とする感染症の実態を把握する「動物由来感染症対策に係る共同研究」を始めると発表しました。

この研究は、厚生労働省の「新興・再興感染症及び予防接種制作推進研究事業」に採択され、開始されるものです。

この研究で、地域における動物由来感染症のワンヘルスアプローチのモデル事業が確立されることになっています。

また、企業等と連携したワンヘルスの普及啓発ワンヘルスに資する人材育成のための医師会、獣医師会との研修会が行われる予定となっています。

福岡県では、この研究成果を他都道府県に発信することで、わが国におけるワンヘルスの推進につなげようとするものです。



### 【重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)】とは？

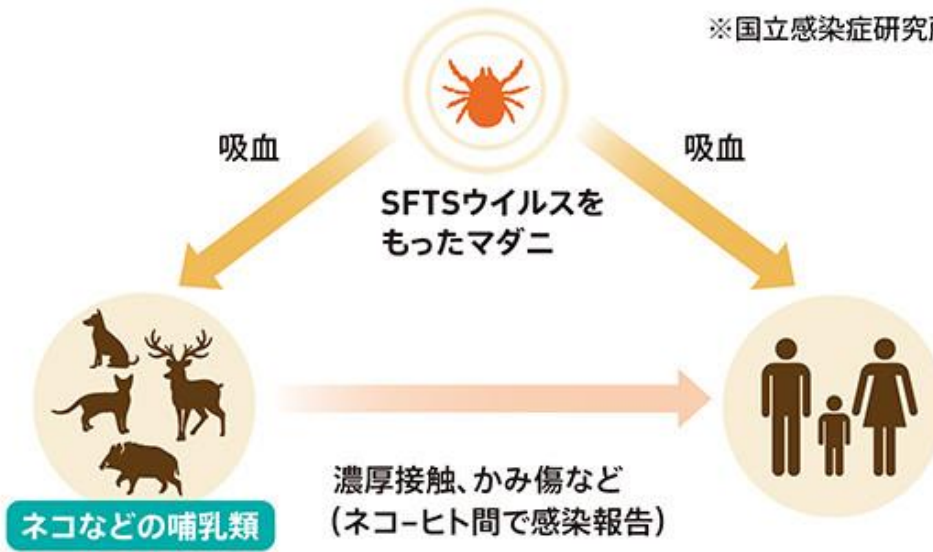
SFTS は、平成 23 年に初めて特定された新しいウイルス (SFTS ウイルス) に感染することによって引き起こされる病気です。

SFTS は、主に SFTS ウイルスを保有するマダニに咬まれることで感染します。

春から秋にかけて、マダニの活動が活発になりますので、森林や草地などマダニが多く生息する場所に入る場合には、長袖、長ズボンを着用するなどマダニに咬まれないよう十分にご注意ください。

# SFTSの感染経路

※国立感染症研究所による



症状	発熱、食欲低下、はき気、下痢など	治療	対症療法のみ。抗ウイルス薬は現時点でなし
潜伏期間	6～14日間		



西日本新聞・朝刊（令和4年4月8日付）

2022年4月8日

福岡ワンヘルス協議会・事務局